

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 10 日 更新

事務事業名		シルバー人材センター運営支援事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	2	福祉の健康						所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施 策	7	高齢者の自立と支援体制の充実						所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	25	高齢者の社会参加の促進						所属班	介護保険班	(内線)	1171
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 10447	根拠法令	高齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要				
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○合志市シルバー人材センターの運営を支援するため、運営に要する経費の一部を補助する。 ○老人福祉法第3条第2項（基本的理念）、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条（国及び地方公共団体の講ずる措置）に基づき補助金を交付する。 ○シルバー人材センターを設置する市町村として、社団法人熊本県シルバー人材センター連合会に負担金（賛助会費）を支払う。 ○平成9年旧合志町、旧西合志町にシルバー人材センター設立。合併後の平成19年に社団法人となる。平成24年公益社団法人へ移行。
【業務の流れ】	【補助金】①事業計画承認（補助金内示） ②補助金交付決定 ③補助金概算払（2回） ④事業実績報告審査（補助金額確定・概算払精算） 【その他】①理事会への出席 ②総会への出席 ③熊本県シルバー人材センター連合会賛助会費支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（負担金・補助金）
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 市シルバー人材センターに補助金を交付し、高齢者の就業を通じた生きがいの充実や社会参加の促進による地域社会の活性化を目指すセンターの安定した運営を支援した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 市補助金額	千円	
→ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
合志市シルバー人材センターの会員	→ ア: シルバー人材センター会員数	人
	→ イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
年齢にかかわらず働く意欲と能力がある人が就労できる	→ ア: 就業実人員	人
	→ イ:	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
シルバー人材センター会員のうち、年間を通じて1回以上就業し、収入を得た就業実人員とした。成果指標の目標値は、シルバー人材センターが設定する目標就業率×会員数とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	千円	7,280	7,280	7,280	7,280	7,280	7,280	7,280	7,280
	イ									
② 対象指標	ア	人	272	274	290	269	274	274	274	274
	イ									
③ 成果指標	ア	人	225	216	216	212	216	216	216	216
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410
		(A)のうち指定経費	千円	130	130	130	130	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	2	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	70	60	70	60	70	70	70
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	273	228	278	218	278	278	278
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,683	7,638	7,688	7,628	7,688	7,688	7,688	7,688

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 企業の定年が 65 歳までに引き上げられていることも影響し、近年新規会員の平均年齢は上がって来ている。シニアパートナー登録制度の導入により、新規会員に繋げることができているが、本人の加齢や病気を理由とする退会者が多かったことが原因と考えられる。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 引き続き、シニアパートナー登録制度やプラチナ会員制度の周知を図り会員確保に取り組んでいる。また、市シルバー人材センターの重点項目としている女性会員の増員のため、センター独自の講習会等を開催を予定しており、チラシ等により周知することによって達成の見込みである。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 事務系及び女性会員向け職域の開拓、介護予防・日常生活支援総合事業への参入など職域を拡大することにより向上の余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 削減するとシルバー人材センターがこれまで低料金で行ってきた剪定、草刈等の請負金額の増額は避けられず、依頼件数の減少へとつながる恐れがある。高齢者の雇用機会の確保のため削減はできない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務に係る必要最小限の業務時間数である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第 41 条（指定等）に基づき定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業の機会を提供する団体として熊本県知事の指定を受けたシルバー人材センターへの補助金の交付は、受益機会において公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業機会を提供する団体の育成は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第 40 条（国及び地方公共団体の講ずる措置）に定められた行政の講ずる措置であり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

シルバー人材センターが行う高齢者の就労支援は市の高齢者福祉施策と合致するもので、高齢者の生きがいがづくりや健康づくり、活力ある地域社会づくりに貢献することができる。
 職域開拓や会員の確保、技能向上など積極的に取り組んでおり、引き続き成果向上に期待し、支援していきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												